



# 8/15 わかまつ

2021 令和3年

編集 若松区役所総務企画課 ☎761・0039 FAX751・6274

- 時間は24時間表記。
- 料金について記載のない催しは入場無料(参加無料)。
- はがき・往復はがき・電子申請の応募方法は11ページを参照。
- 甲=申し込み 問=問い合わせ
- 共通=共通の内容 担=市の担当課
- ネット=ネット窓口(電子申請)

掲載の催しなどは、新型コロナウイルスの感染拡大の状況などによっては、変更・中止となる場合があります。

## 「佐藤慶太郎基金」助成活動を募集

自身の半生を社会貢献に捧げた若松の偉人・佐藤慶太郎氏の遺志を継いだ「佐藤慶太郎基金」から文化活動や社会福祉活動などを実施する市民団体の事業を助成します。上限は5万円。応募は8月16～31日。詳細は、ひびきボランティアの会事務局(若松区役所総務企画課内) ☎761・4045へ。

## 若松体育館・武道場 一部休館のお知らせ

9月7日若松体育館(古前一丁目)のアリーナ(13～17時)とトレーニング室(9～13時)、9月8日武道場(9～17時)は使用できません。問北九州市スポーツ協会若松管理事務所 ☎761・1983へ。

## 社会生活基本調査にご協力をお願いします

社会生活の実態を明らかにし、各種行政施策のための基礎資料を得ることを目的として総務省・福岡県が実施します。8月下旬から調査員が調査地域の世帯にお伺いします。ご理解とご協力をお願いします。問福岡県調査統計課 ☎(092)643・3191へ。

## 若松区役所公式SNSのお知らせ

若松区役所では、公式Facebookと公式Instagramを開発しています。公式Facebookでは、若松区に関するイベント開催や区政情報をタイムリーに情報発信しています。

公式Instagramでは、カメラのファインダーを通して見つけたいつもとは違う若松区の一面を、発信、募集しています。あなたが見つけた若松区の魅力を、「#若松に恋」「#wakamatsunikoi」をつけて投稿してください。

いいね! フォロー! シェア! などのご協力をよろしくお願いいたします。

下記の二次元コードからアクセス可能です。

問若松区役所総務企画課 ☎771・3559へ。



アクセスはコチラ▲



アクセスはコチラ▲

## 健康だより

問若松区役所健康相談コーナー ☎761・5327

**食生活相談** 健康を考えた食生活の相談に管理栄養士が応じます。1人30分程度の個別相談です。希望者には体組成測定あり。9月1日(水)10、11、13、14時(各1人)、若松区役所で。対象は64歳以下。定員4人。甲8月30日までに問先へ。

**離乳食教室** 離乳食のすすめ方の話と個別相談。9月14日(火)13時10分～14時30分、島郷市民センター(鴨生田二丁目)で。対象は離乳食開始(生後5カ月ごろ)～生後7カ月ごろの乳児と保護者。母子健康手帳が必要。定員12組。甲8月23日～9月6日に問先へ。右記の二次元コードからも申し込みができます。



**マタニティ講座** 2回シリーズで行います。▶第1課=妊娠中の過ごし方、リラックス法や出産準備ストレッチ、胎内からのデンタルケア。助産師・歯科衛生士による講話と体操など。9月17日(金) ▶第2課=赤ちゃんとの過ごし方、ママの産後ケア、ママとベビーのすこやかレシピ。助産師、管理栄養士による講話など。9月24日(金)。共通13時20分～15時。若松区役所で。対象は妊婦と家族。母子健康手帳が必要。体操できる服装で来所を。定員各課12人。甲8月25日～9月8日に問先へ。下記の二次元コードからも申し込みができます。



**ほやほや赤ちゃん教室** 赤ちゃんの育て方の講話やベビーマッサージなど。9月24日(金)13時50分～15時、若松区役所で。対象は生後1～4カ月の乳児と保護者。バスタオルが必要。定員8組。甲9月1～15日に問先へ。右記からも申し込みができます。



▲申し込みはコチラ

## 飲酒運転撲滅週間 8月25日(水)～31日(火)

飲酒運転は重大な犯罪であり、「罰金や懲役」、「運転免許の取消」、「会社の解雇」など、非常に重い罰則や社会的制裁が課されます。

また、飲酒運転事故は、被害者、加害者、そして両方の家族の生活を大きく変えてしまいます。

自分自身はもちろん、周りの人が飲酒運転をしないよう、お互いに呼びかけ合いましょう。

「飲酒運転は絶対しない! させない! 許さない! そして、見逃さない!」

みんなの力で飲酒運転をなくしましょう。

問若松区交通安全推進協議会 ☎761・0039へ。



## 「若松物語Vol.32」を発行

魅力にあふれ、急速に発展・変貌していくまち「若松」を、毎回、多面的な切り口で紹介する季刊情報誌「若松物語」の第32号が発行されました。今回の特集は、「ホップ畑に描く未来地図～私たちのSDGs」と題し、若松で始まったホップ栽培を紹介しています。地域の特産品を生み出し、市民参加の輪を広げ、環境保全にも取り組むなど、SDGsに繋がる注目の事業が始まっています。

また、若松区のイベント情報なども掲載しております。

「若松物語Vol.32」は各区役所・出張所などで無料配布しています。ぜひご覧ください。

問若松区役所総務企画課 ☎771・3559へ。



本紙は古紙/パルプを含む再生紙を使用しています。